

情報収集ツールとしてのインターネット

スマートフォンなどのインターネット機器の普及に伴い、インターネットは私たちにとってもっとも身近な情報収集ツールのひとつとなっています。調べものをするときは決まってインターネットを使うという方も多いのではないのでしょうか。

しかし、情報収集ツールとしてのインターネットには、メリットもデメリットもあります。

情報収集ツールとしてのインターネットのふたつのメリット

情報収集ツールとしてのインターネットのメリットとしてあげられるのが、最新の情報が入手できることです。新聞や書籍などの紙媒体と違って、インターネットでは絶えず情報が更新されているので、24時間いつでも新しい情報をいち早く入手することが可能です。

また、欲しい情報を簡単に調べることができることも、インターネットのすぐれた点です。インターネット機器さえあれば、キーワードを入力するだけで、それに関連した情報をすぐに見ることができます。



インターネット上には嘘やまちがった情報もたくさんある

インターネットのデメリットとしては、情報の信ぴょう性が薄いということがあげられます。テレビや新聞などのメディアとは違い、インターネットでは誰でも手軽に情報を公開することができます。そのため、インターネットには嘘やまちがった情報もたくさんあるのです。

インターネットで情報収集をするときは、以下のようなことを意識して、自分で情報の正しさを確認することが大切です。

- ・情報が載っているサイトや、情報の提供元が信頼できるかどうか確認する
- ・情報が掲載された日付を確認する(その情報が古いものではないかを確認)
- ・インターネットだけを見て情報を判断するのではなく、新聞や書籍、テレビなど複数のメディアから情報を集める



インターネットは情報収集ツールとしてとても便利な反面、嘘やまちがった情報が多いというデメリットもあります。そのことを子どもたちに理解させ、インターネットに載っている情報をそのままのみにするのではなく、自分で情報の正しさを確認するよう指導していくことが大切です。